

藤沢

2016年1月1日

第260号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



主
な
記
事

- ・電力自由化時代と市民生活
- ・電気自動車で省エネを!
- ・沖縄 球美の里を訪ねて
- ・武田薬品研究所 ・放射能測定値

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

2016年への期待

あけましておめでとうございます。

昨年12月、嬉しいニュースが届きました。195か国が参加する国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で合意されたパリ協定です。2020年以降の地球温暖化問題の取り組みで、長期目標(気温)を産業革命前からの平均気温上昇2度未満に抑える、排出量をできるだけ早くピークアウトさせ、今世紀後半に人為起源の排出を正味ゼロにするというものです。そのために毎年1000億ドル以上の資金を先進国等が拠出することも合意されました。5年ごとに進捗状況の確認をしながら、長期目標を達成していきます。この合意の直前にはクリーンエネルギー100%を求める「グローバル気候マーチ」(デモ行進)がインド10万人、オーストラリア12万人など世界の多くの人たちの市民運動がありました。パリではテロ警戒のため、マーチはできず、代わりに会場前の広場にマーチ参加予定者の靴1万足を並べ、その中には潘基文(パン・ギムン)事務総長の靴もあったそうです。日本であまり報道されなかったのは残念です。

このパリ協定を受けて、気候変動連続学習会の企画が市内市民団体で持ち上がっています。腰を据えて学習し、温暖化に立ち向かう方策を考え、行動していきたいと思います。

今年は福島原発事故5年、チェルノブイリ原発事故30年に当たる節目の年です。福島県内外の避難者が福島県発表によると未だに10万人余りいます。放射能の影響におびえる子どもたちが多くいます。それにも関わらず、1年11か月続いた原発ゼロは、昨年8月の九州電力川内原発再稼働で崩れ去ってしまいました。2012年に藤沢エコネットが提出した脱原発意見書請願は了承されて藤沢市議会から国へ提出されました。しかしその後年のいくつかの再稼働反対の市議会請願は否決されています。忘れてよいのでしょうか。チェルノブイリでは未だに子どもたちに健康障害が出ています。

今年はエネルギー問題が重要課題の年になりました。気候変動問題から脱化石燃料の原子力への回帰が懸念され、また、家庭でも電気が選べる「電力自由化」が開始される年です。地産地消エネルギー藤沢市民の会が連続講座を開いています。各々がしっかりクリーンエネルギーを選ぶか、岐路の年になります。

「Think globally, Act locally」

今年もこれでいきたいと思います。

シンガポールの大気汚染はインドネシアの森林火災が影響していると言われています。インドネシアの泥炭地に植林された木材がコピー用紙となって日本で売られています。紙はリサイクル紙を使っていますか? (青柳節子)



御所見からの富士山 (加藤氏提供)

電力・自由化時代と市民生活

「パワーシフト！自然エネルギーを重視する電力会社を選ぼう」と題して吉田明子氏（国際環境NGO FoE Japan 気候変動エネルギー担当）を講師にお話を聞きました。

（概略）従来、国策民営で行われていた電力をシステム改革とエネルギー政策により、自由化しエネルギーを固定価格買取制度として2016年4月から始まります。今まで東京電力だけでしたが、電力会社を自由に選ぶことが出来る仕組みです。「FoE Japan」がすすめている「パワーシフト・キャンペーン」は自然エネ会社に向けて電力のあり方を伝え、自然エネの電力会社を選びやすくする情報を伝え、新制度の働きかけなどを行っています。電力会社66社をインタビューし、どんな方針を持った会社かをネットで紹介もしています。

「パワーシフト・キャンペーン」が重視する電力会社とは ①電源構成や環境負荷などの情報を一般消費者に開示していること ②再生可能エネの発電設備からの調達を中心とすること ③原子力発電や石炭火力発電所からの調達はしないこと ④地域や市民による再生可能エネルギー発電設備を重視している ⑤大手電力会社と資本関係のないこと

これからの課題としては、家庭向けの小売り供給は厳しい、4月からの開始は少ない見通し。再生エネからの調達量は足りないが準備中の会社も多数ある。消費者は「再生エネの電気を使いたい」との声を届けることが不可欠です。

現在、経産省、資源エネルギー庁などに「電源構成の開示・表示義務化に関する要望書」を出しています。ドイツやEUでは義務化されています。この開示が無ければ、電力会社を選びたくても選べない、原発や火力発電がまざっているかも知れないのです。

「(株)サニックス」からの会社紹介がありました。家庭の太陽光発電設置や苫小牧に廃プラスチックを燃料にした火力発電所を持ち、厚木市に営業所を持っています。お話の後、意見交換が行われ有意義な学習会でした。

（日比遥）

「球美の里」を訪ねて

久米島は、那覇から35分くらいのフライトでやっとたどり着ける小さな島です。ここに「球美の里」という福島の親子の保養受入れ施設があります。フォトジャーナリスト広河隆一さんが中心となって2012年7月に建てられました。2016年1月4日は53回目の受入れ中です。

ほとんどの保養受入れ団体は、自前の施設を持っているわけではなく長期の春休み、夏休み、冬休みに宿泊できる施設を借りて受入れをしています。球美の里は、1年を通しての受入れをしています。

福島からは遠いですが、ここには青い海も緑濃い小高い山もあります。白い珊瑚礁の砂浜もあります。豊かな美しい自然が残っている場所は、そこにいて、誰もが癒されます。私も、なんてよい所だろうと、そこに居るだけで気持ちのびやかになってゆくのが感じることができました。

訪問したのは2015年の10月19日。神奈川は秋でしたが、「球美の里」はまだ夏でした。沖縄に生息する蝉の金属音のような鳴き声がずっと響く中、見学とお話を聞かせていただいたりしました。

「球美の里」の施設のほとんどは、かつて陶芸家が個人的に所有しておられ、ご事情があって手放されていた施設を保養施設に適切な場所はないかと相談に行かれた広河さんが沖縄県知事から紹介されたのだそうです。その施設をうまく改装して、宿泊施設、遊ぶ部屋にし、また本館の裏には畳部屋の新館を増設してありました。資金は「DAYS JAPAN」の募金、「未来の福島こども基金」、著名人からの寄付、全国の市民からの募金など、海外からも寄付があるそうです。年間の運営費用は9000万ほどにもなるそうです。交通費がかかり、職員さんの給料も支払いが必要、本格的に保養受入れをすると、こんなにお金が必要になるという現実を知りました。久米島町の協力もあり、食材の差し入れもあるそうですが、それだけの資金を集めるのは大変なことです。市民の善意に頼っているばかりではなく、国が政策として保養に取り組むべきだとつくづく感じます。

（すどうゆりこ）

武田薬品漏えい事故 4 周年門前宣伝行動

昨 12 月、武田薬品湘南研究所の遺伝子組み換え漏えい事故 4 周年門前宣伝行動をおこなった。

早朝、藤沢市、鎌倉市から 10 数人が集まり、バスから降りてくる人や通勤者などにニュース 22 号を手渡した。

その直前に武田問題対策連絡会の掲示板に届いた漏えい事故に関する内部告発的な発言が現れた。事故時に、連絡を受けた〇〇さんは夜中だったこともあり、上部に連絡せずに寝込んでしまった。朝連絡を受けた責任者是对応に追われ、後になって責任をなすり合ったなどというものだった。その後掲示板に漏えい事故の真犯人についての発言が続いた。重要と思われるので、以下に紹介したい。 (青柳節子)

武田問題対策連絡会掲示板より

「漏えい事故の真犯人はカルタヘナ法違反の滅菌システム」

2011 年、漏えい事故を起こした武田薬品湘南研究所 4 号棟では、研究室ごとに研究者が責任を持って滅菌するのではなく、生きている遺伝子組み換え生物などを、そのまま流し台に流してしまい、全研究室から集めた実験液を 1 階の滅菌装置で集中滅菌しているようだ。

しかも滅菌装置の管理は外部委託会社。研究者本人は実験後滅菌がおこなわれたか確認せずにさっさと帰宅してしまう。

これがカルタヘナ法違反でなくて何なのだ？

武田薬品の経営者よ、文科省よ、目を覚ませ！「4 号棟全体を 1 研究室とみなしますので、4 号棟の中で滅菌されていれば、問題ありません」などと言う欺瞞がまかり通っているから漏えい事故は起こったのだ。

その後の事故対策は各研究室の流し台から一定量しか実験液を流さないようにしただけで、根本的原因の集中滅菌システムは現在も続いているというから、恐ろしい。なにしろ 40 メートル以上ある上階から生きたまま 1 階の滅菌装置まで流しているのだから、地震などで配管が壊れれば終わりだ。早急にカルタヘナ法違反の集中滅菌は中止していただきたい。

電気自動車で省エネを！

電気自動車 (以下 EV 車) を購入する直接のきっかけとなったのは、雪道でのスリップ事故です。ブレーキもハンドルも全く機能しなくなり、壁に激突、車は大破しエアバックが飛び出しエンジンから煙のような水蒸気が噴き出し恐怖の瞬間でした。怪我はなく不幸中の幸い、激突の時ガソリンに引火でもしたらと思うとぞっとします。車の走行距離などを考えて修理するよりも新車を購入することにしました。

EV 車購入に対し国などの補助金やエコカー減税などの制度があり、期限が迫っていたこともあってトントン拍子で話を進め 14 年 4 月に購入しました。CO₂ 排出がゼロになる。そんな宣伝に載せられた感じもします。日産の車で補助金は約 80 万円でした。(1 年以上経ち現在は大変わっています)

EV 車は、静かに走るので乗り心地は最高です。しかし車が近付いても気がつかない事がありますので歩行者に注意が必要です。電気自動車はガソリンや軽油を全く消費せず、公害となる CO₂ 排出はゼロで環境性能は「非常に良い」のランクです。



欠点と言えば 1 回の充電 (満タン) で走行できる航続距離は時速 80 km 平均で走っても約 220 km 走れガソリン車の半分以下です。充電スタンドなどインフラ整備は全国的にもかなり進み安心ですが、充電に要する時間は 24kw バッテリーで約 30 分間必要です。このため、近距離の平坦道路で 1~2 時間運転するには全く心配はありませんが、遠距離ドライブの時は充電スタンドをチェックしておくことです。藤沢市の桐原リサイクルセンターでは充電器を設置し無料で充電できます。

私は、最初の遠乗りは柴村の秋山郷への旅行でした。第 3 京浜から環八を通過して関越自動車道の練馬インターに着くまではハラハラドキドキでした。

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

何とか途中充電もせず高速道に乗ることができました。高速ではEVマークのあるところで充電。栄村まで4回充電を行いました。距離的には1回の充電で良いと思っていましたが、途中で電気不足が心配で充電回数が多くなりました。初めての運転だったため必要以上に電気を使ってしまったこともあります。

「航続距離」は、ブレーキの回数や山道走行、坂道走行、エアコンの使用などで違います。EV車はエコ運転をすることで電気を上手に使うことができ、走りながら充電をすることができますので下り坂などでは電気を使わずに貯めていく事もできるのです。栄村までの道乗りは、急勾配の上り坂があり、その時は平坦の道路の倍以上に電気を使っていますので、山間地へ行く時は充分注意が必要です。現在は約1500km走行しました。

地球上のCO2排出がこのまま進めば人類や他の生物もこのまま生き続けることは不可能になると言われています。環境にやさしいEV車はもっと普及してほしいと思いますが、電気を使うことに変わりはありません。我が家では、そのため、太陽光による発電装置を家の屋根に取り付けました。駐車場に充電設備を設置し車で使う電気はクリーンな電源になりました。

(浜田国栄)



放射能測定値

〈放射能測定器運営協議会測定 (市HPより)〉

10月、11月に計測した、市内のものでほとんどがND(ゼロではないが検出できない)でした。

片瀬西浜海岸の砂	3.33 bq/kg
わたらい茶 (毎月計測)	25 bq/kg(基準値以下)
サツマイモ	0.964 bq/kg(基準値以下)
大根葉	ND
さといも	ND
ヤツガシラずいき	ND
西浜海岸の海水	ND

ECNET INFORMATION

市民講座 地球温暖化と環境の変化

1月12日(火) 13:00-14:30

日本大学 4階 大講堂 参加費 無料

「気候変動と遺跡保存・中国敦煌莫高窟遺跡を例に」
「北極域の土や植物は温暖化を加速するのか？」

主催 日本大学生物資源科学部



六会地区環境フェア

丸山谷戸援農クラブなどによる講演会、
周辺地域の清掃

2016年1月29日(金) 10:00-12:00

講師：丸山谷戸援農クラブ

環境総務課へ1/21(木) 17:00までに申込みを

★講演会参加の方には、お花の苗をプレゼント致します!

13:25- 一般参加の方は、ご自宅から六会駅前公園までの道路上のゴミをレジ袋などに入れて持参し、分類表示されたカゴに分別する。(事務局：六会市民センター)

江の島コッキング苑で!!

今、2万本のチューリップが開花しています 夜もライトアップされて19:30までに入場すると見ることができます。



行ってみてはいかがでしょうか。

藤沢エコネットから

◆会員募集=年会費・購読料→3000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 万サエコネット

◆事務局会議 1月13日(水) 13:30~
市民活動推進センター

《編集後記》2016年が幕明けした。激変した去年の情勢、原発の廃止等課題が残るが、平和が保たれる一年となるように祈る。今年は申年「見ざる聞かざる言わざる」ではなく、一層世の中を見て、聞いて、声をあげなければと思う。年頭に当たり、エコネットニュースは260号を迎えた新年、毎月発行で今年も続けます。広く皆さまからの声を紙面でお届けしたいのでぜひ通信をお寄せいただきたい。今年もどうぞよろしくお願ひします。(H)